

きりしき

キミ

題字：田中キミ様

第65号

平成26年 1月18日発行

〒338-0011

さいたま市中央区新中里2-8-6

TEL 048-858-6655

社会福祉法人 明日栄会

発行責任者 金子 光子

HP : <http://www.kirishiki.jp/>

謹んで新春のお喜びを申し上げます。
ご家族の皆様におかれましてはよき新年を
お迎えのことと存じます。

昨年は各地でこれまでに経験したことのない豪雨や猛暑、さらには例年になく回数のない台風や襲来など自然災害に苛まれ、国内のみならず世界規模で地球温暖化による異常気象の影響が顕著な一年でした。

一方、富士山の世界遺産登録、二〇二〇年東京でのオリンピック開催決定など明るいニュースもありましたが、今年からは四月から消費税の改定が待っており、「きりしき」としても厳しい経営状況の中事業を進めて行くこととなります。

高齢化社会の中、各種介護関係のあり方や介護保険法の改定案など検討されておりますが、私たちは引き続き「きりしき理念」を基に地域の人々と歩んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成二六年 元旦
明日栄会 理事長 金子 光子

新年のお地藏参り

新しい年の平成二六年を迎え、きりしき構内にある、きりしき地藏へ、新年のお参りをしてきました。今年も、怪我や病氣無く、みんな笑顔で楽しく一年を過ごせるようにと願いを込めてのお参りです。

利用者、職員共々、健康で元気に明るく一年を過ごす事が出来ますようにと、手を合わせてまいりました。

今年一年、よろしくお願い致します。



きりしき祭



十月二十六日から二十八日の三日間に亘って「きりしき祭」が行われました。

今年度は内容をリニューアルして、きりしき各事業所毎にご利用者様と職員が一緒に制作した作品の、展示を中心に行う事となりました。

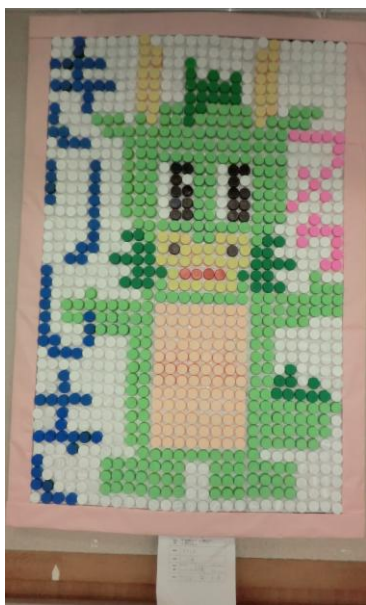
各部署全く異なる作品に仕上り、それぞれの特徴が出て普段の雰囲気は垣間見えるものとなりました。

初日の二十六日には、「丸屋洋品店」と「セブンイレブン」の出店があり、きりしき祭に華を添えていただきました。

きりしきデイサービスセンター
高さ2M、幅4M大きな「十五夜のれん」



従来型特養
創作アート「ひまわり」



上峰デイサービスセンター
創作はいえ



ユニット型特養
キャップアート「ヌウ」



十二月十九日に毎年恒例の餅つきを行いました。今年も、例年よりも多くの利用者の方々にお餅をついて頂く事が出来ました。普段では見せない早さでもちをつかれる動きには、とても驚かされました。その後は、皆様でついたお餅を美味しく召し上がられました。おいしいと笑顔で召し上がられ三回もおかわりされた方もおりました。

もちつき

クリスマス会

十二月十一日(水)一階食堂にて平成二十五年一度きりしきクリスマス会が開催されました。各部署毎に様々な演目を披露してくれました。

一番手は上峰DSです。テレビのCMでもおなじみの「ダイワハウス」の踊りを披露してくれました。

二番手は医務室です。看護師の皆さんが華麗なフラダンスを踊って下さいました。筆者も日本にいなながらハワイにいるかのような気分になりました。利用者様も看護師さんの華麗なフラダンスに酔いしれているように見えました。

三番手はユニットです。超人気ユニットAKB48のダンスを披露してくれました。



四番手は事務所による「ゴールデンボンバー」です。職員たちのコミカルながら体を張った演技に会場は拍手喝采でした。

五番手は居宅・包括による懐かしのメロデイこと「懐メロ」です。往年の大作映画「青い山脈」の音楽にのって自転車に乗った学生さん？舞台を所せましと駆け回りました。このシーンを見て名作「青い山脈」を思い浮かべた方もいたのではないのでしょうか？

六番手は従来型特養による「ももいろクローバーZ」です。三人娘？による華麗なダンスが印象的でした。

七番手はきりしきDSによる「ソーラン節」です。掛け声と共に綱を引く動きを見ているとその場にはいなくても北の荒海で漁業にいそしむ漁師さんの姿が目には浮かぶようでした。

職員による出し物の後は毎年恒例のデンソーさんによるクリスマスソングです。今年も大勢のサンタクロースさんがきりしきに来てくれました。「ジングルベル」「きよしこの夜」などの歌を歌って下さいました。歌の後は利用者様にサンタクロースの皆さんから素敵なクリスマスプレゼントを頂きました。デンソーの皆さん本当にありがとうございました。また来年も来て頂けるよう、元気に過ごして参りましょう。

今年も無事にクリスマス会を終える事ができました。来年も職員一同、皆様に楽しんで頂けるよう努めてまいります。

クリスマス会担当



きりしき恒例 蕎麦打ち

十一月二十日、信州の新蕎麦を打ちました。厨房の職人さんのご指導の下、巧みの技さながらの腕前で蕎麦切りをご利用者様が披露してくださいました。水加減の難しい蕎麦に少しづつ水を加えていくと緑色に変化。「あつ！」と驚きの声があがり、こねて、伸ばして、蕎麦切りすると熱気と笑いがあふれました。昼食は蕎麦と天ぷらをおいしくいただきました。ご利用者様は大満足。また次回を楽しみにしています。ありがとうございました。



「地域包括支援センター」 ケアマネぷらっと（ケアマネ会議）

地域包括支援センターでは、地域の居宅介護支援事業所（以下、居宅）の介護支援専門員（ケアマネジャー）が包括的・継続的ケアマネジメント業務を実践することができるよう、介護支援専門員へのサポートを行っております。その一環として中央区の居宅に在籍するケアマネジャー向けに「ケアマネぷらっと」（ケアマネ会議）を開催しています。十月二十四日は近隣の短期入所事業所相談員とケアマネジャーとの連携強化を目的に会議を開催しました。当日は各相談員による動画を用いたPRタイムをエンターテイメント性をもたせた演出にて行いました。その後はケアマネと相談員とのグループワークにより、ケアマネジャーと事業者との互いの連携と事業所同士の横のつながりをはかることが出来ました。きりしき地域包括支援センターでは今後とも地域の包括的・継続的ケアマネジメント支援を行ってまいります。



「認知症サポーター養成講座」 を野南小学校で開催しました

きりしきでは今年も「認知症サポーター養成講座」を開催しています。高齢化が進み、同時に認知症になる方の数も年を追うごとに増えています。

認知症に関する理解を深めていき、認知症になった方やその家族が安心して暮らしていけるよう、地域の方々を対象に講座を開催しています。

今回は十二月二十日に野南小学校五年生を対象に開催。講義だけでなく、寸劇や施設長による「フレディの遺言」の朗読等、盛りだくさんの内容で行い、講義内容も「分かりやすく、興味を持ってもらえるように」をテーマに通常の講座内容を一新。笑顔の絶えない講座となりました。

子供達からは「お年寄りの事を大事にしたいと思った。」等の反響をいただきました。

